

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 若竹 航輝
所属 (School) 現代システム科学域
学年 (Grade) 一回生
留学先 (Name of overseas institution)
カリフォルニア大学
留学期間 (study abroad period) 三週間
記入日 (Date) 2017年10月3日

留学レポート Study Abroad Report

僕は高校一年生の時に一度オーストラリアに二週間滞在しました。それにより、英語に興味を持ち、「外国語を扱う大学に行って、もう一度語学研修に行く」と決めていました。

しかしそううまくいかず入ったのは大阪府立大学の経済について学ぶ学部でした。そしてたのしく大学生活を送るにつれて高校生の時に考えていたことなど完全に忘れ去り、僕の思い描いていた大学生からかけ離れていっていることに気づき親にこの大阪府立大学のプログラムを見せたのが僕が今回このプログラムに参加することになったきっかけです。

正直、一度経験したとはいえ出発日が近づくにつれていやになったりもしましたが帰ってきた今となっては本当に行ってよかったなと思っています。ここからは僕が体験したことについて書いていきたいと思います。

まず一週間目は、いろいろなことに慣れていきました。食べ物のジャンキーさや、大学までの行き方、本場の英語のスピードなどです。ステイ先から大学までは大体の人がバスで行くことになると思いますが、またその時になって言われると思いますが、日本のように時間に正確ではないということに注意してほしいです。初めの一週間はそのせいで結構ひどい目にあいました。

バスも一時間に一本とかなので見逃してしまうと本当に大変なことになります。それとアクティビティの申し込みは自分が行きたいと思ったら周りの友達は無関係なく参加したほうがいいと思います。

正直一週間目は結構初めてのことばかりで毎日の疲労感がすごかったです。

二週間目は少し慣れてきたため、積極的にいろいろなことに挑戦しました。一週間目のアクティビティで仲良くなったスペインから来た友達が招待してくれたパーティに参加したり、学校帰りにみんなで少し遠出して買い物に行ったりしました。

パーティは出会いがたくさんあるので本当に行ってよかったなと感じました。

ただ、学校帰りにどこかへ行く場合は前日にはホストファミリーに行っておきましょう。気兼ねなくいくことができます。

三週間目はもう少しで帰るという意識を持ちながら楽しみました。

アクティビティでロサンゼルスに行ったのですが、ものすごくにぎやかな街でその分少し危険でもありました。手を組んで歩いていたら何かよくわからないCDを腕に入れてきて金を請求してきたりコスプレをした人がいて写真を取ると高額を請求されたりしました。

安全に楽しむためにも僕たちはリュックサックは前にして背負ったりと細心の注意を払いながらロサンゼルスの街を散策しました。

大学のあるアーバインがいかに平和だったかを思い知るいい機会となりました。

といたようにかなり簡単に書いたのですが一つ本当に思ったのはこの留学を有意義にできるのも意義をなくすのも自分次第だなと思いました。

ステイ先でもファミリーと全然話さないでおこうと思ったら本当に話さずに一日を終えることもできますし、大学でも同じ大学の日本人生徒とばかり話しておけば何も気にすることもなく楽に一日を過ごすこともできます。しかし何が大事なのかといたら当然英語を話すことです。皆さんが外国に行くときはぜひ英語を話すことを意識してもらえればと思います
がんばってください。